

機械器具 12 理学診療用器具

一般医療機器 弾性ストッキング 31724000

## オペキュット W

### 【警告】

適用対象(次の患者へ使用する際には特に注意すること)

- ・ 深部静脈血栓症、下肢表在静脈の血栓性静脈炎の患者で、本品を装着すると肺血栓塞栓症を起こす恐れのある患者。  
[肺血栓塞栓症を発症する恐れがあるため。]
- ・ 動脈血行障害やうっ血性心不全のある患者、及び着用部位に炎症や化膿・疼痛を伴う皮膚疾患、創傷のある患者。  
[圧迫により症状が悪化する恐れがあるため。]
- ・ 急性循環不全等、末梢循環が不安定な患者。  
[血流量低下により壊死が起こる恐れがあるため。]
- ・ 着用部位に知覚・神経障害のある患者。  
[血行障害や痛み等の異常を認識できない恐れがあるため。]
- ・ 糖尿病患者。  
[無症状の知覚障害や血行障害を併発している場合、痛み等の異常を認識できず、また症状を悪化させる恐れがあるため。]
- ・ 原材料の繊維に対して過敏症のある患者。  
[接触性皮膚炎を起こす恐れがあるため。]
- ・ 着用部位に極度の変形を有する患者。  
[適切な圧迫圧を得られないため。]

### 【禁忌・禁止】

#### 1. 適用対象

- ・ 重度の動脈血行障害、うっ血性の心不全及び有痛性青股腫の患者。  
[圧迫により症状を悪化させる危険性が高いため。]
- ・ 化膿性静脈炎の患者。  
[菌血症や敗血症を発生、悪化させる恐れがあるため。]

#### 2. 着用方法

血流確認用のモニターホールから足先を出したまま着用しないこと。  
[血行障害、圧迫性潰瘍を引き起こす恐れがあるため。]

### 【形状・構造及び原理等】

1. 本品は、伸縮性により着用部に同心性の圧迫を加えるとともに、末梢部から中枢に向かい圧迫圧が漸減する構造となっています。
2. 本品は、適応サイズ範囲内の人に対して下記の強さで段階的圧迫を与えることができます。

(測定器:SALZMANNMST MKIII)

| 部 位 | 足 首           | ふくらはぎ         |
|-----|---------------|---------------|
| 圧迫圧 | 24hPa(18mmHg) | 19hPa(14mmHg) |

※圧迫圧は各部位における参考値であり、着用者の体型によって圧迫圧は異なります。

#### 3. 本品の規格は以下の通りです。

##### 1)用語の規定

- ・ 足首:くるぶしより上の最も細い部分。
- ・ ふくらはぎ:膝下の最も太い部分。

##### 2)形状

ハイソックス

※足裏に血流確認用のモニターホールがあります。

### 3)サイズ展開

女性用5サイズ

※サイズによってふくらはぎ部のラインを色分けしています。



| 種 類 | 周囲径(cm) |       | 丈<br>(cm) | ライン色 |
|-----|---------|-------|-----------|------|
|     | 足 首     | ふくらはぎ |           |      |
| SS  | 16-18   | 26-29 | 36        | ブルー  |
| S   | 18-20   | 29-32 | 36        | パープル |
| M   | 20-22   | 32-35 | 36        | ピンク  |
| L   | 22-24   | 35-38 | 38        | オレンジ |
| LL  | 24-26   | 38-41 | 38        | イエロー |

### 4)素材

ナイロン77%、ポリウレタン22%、ポリエステル1%

### 【使用目的又は効果】

下肢の静脈血のうっ滞を軽減又は予防する等、安静時の静脈・リンパ還流の促進。

### 【使用方法等】

#### 1. 準備

足首とふくらはぎの周囲径を計測し、サイズ表にて正しいサイズを選んでください。

#### 2. 着用方法

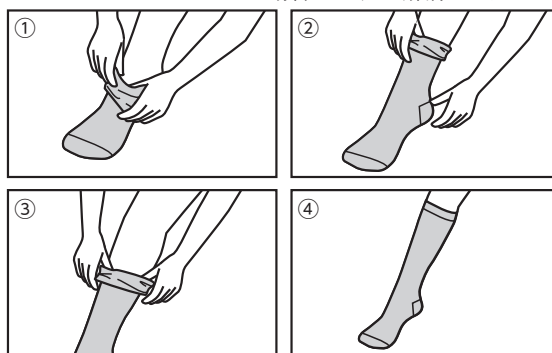
※着用する際は、爪や指先の荒れ、指輪等で本品を傷つけないよう注意してください。

- ① 本品をたぐりよせて、つま先を入れます。
- ② 足首まで引き上げてかかとの位置をあわせませす。
- ③ 両手の親指を内側に入れ、均等に少しずつストッキングを引き上げます。
- ④ ひざ下まで引き上げます。

※着用後、かかと部分が正しい位置にあることを確認してください。

※モニターホールから足先が飛び出していないことを確認してください。

※シワやたるみ、ねじれがある場合には、適宜解消してください。



## 【使用上の注意】

1. 使用注意 (次の患者には慎重に適用すること)
  - 1) 術後等、患者の意識レベルが低い場合及び患者との意思疎通が困難な場合には、患者の状態をよく観察して使用してください。
  - 2) ギプス、外傷等により着用部位が長時間不動状態にある患者は、潜在的に深部静脈血栓症を発症している可能性があるため注意してください。
  - 3) 本品の着用により、脚に疼痛、しびれ、皮膚や爪の変色、皮膚温の低下、かゆみ、発疹、かぶれ等の異常及びその他着用前に感じなかった不快感、違和感が生じた場合は、直ちに着用を中止してください。  
[動脈・静脈の血行障害又は神経障害等を発症する恐れがあるため。]
2. 重要な基本的注意
  - 1) 正しい圧迫圧を得るため、着用部位の規定箇所を必ず計測し、正しいサイズを選択してください。また、適応サイズ外の場合には着用しないでください。
  - 2) 腫脹の軽減等により、着用中に着用部位の周径が変わった場合は、適切なサイズに変更してください。
  - 3) 本品に、破損(伝線、ホツレ、破れ等)が無いことを確認してから着用してください。破損がある場合は、適正な圧迫圧が得られないため、着用しないでください。
  - 4) 本品を折り返したり、重ねて着用しないでください。  
[血行障害や神経障害等を引き起こす恐れがあるため。]
  - 5) 圧迫圧の過不足を防ぐため、たるみやシワのないように着用してください。本品が着用中にたるんだり、シワが寄ったり、ずれたり、誤った位置に着用されている場合には正しく着用し直してください。
  - 6) モニターホールがめくれ上がらないように注意し、めくれ上がった際や血流確認で足先を出した際は、随時元に戻してください。
  - 7) 同一の本品を複数の人で着用すると、変形・劣化により適正な圧迫圧が得られないため、避けてください。
  - 8) 本品は、繊維製品のため、次のような場合には破損(伝線、ほつれ、破れ等)する可能性があるため注意してください。
    - ① 少しずつ引き上げず、強く引っ張り上げての着用
    - ② 爪が伸びていたり、反っていたりする足への着用
    - ③ 肌荒れした手や伸びた指の爪での取扱い
    - ④ 鋭利な物への接触
  - 9) 1日数回、皮膚や爪の色に変化がないか確認してください。また1日1回は必ず、着用部位全体の観察を実施するために履き直しを行ってください。
  - 10) 間欠的空気圧迫装置等、他の圧迫療法と併用する場合には、本品単独着用時よりも高い圧迫圧が加わったり、着用位置がずれることがあるため、適宜本品及び皮膚の状態を確認してください。
  - 11) 本品と寝具との摩擦や発汗により、かかと等に褥瘡を生じる恐れがあるため、皮膚の状態観察を十分に行い、必要に応じて褥瘡予防の処置を行ってください。
  - 12) 軟膏等の薬品や油脂、溶剤等が付着すると繊維が劣化する恐れがあるため、付着しないように注意してください。

## 3. 不具合・有害事象

本品の着用により、以下の有害事象が起こる可能性があります。

### 1) 重大な有害事象

#### ① 血行障害

チアノーゼ、腫脹、疼痛、しびれ、皮膚の冷感等、血行障害が現れた場合には、直ちに着用を中止し、適切な処置を行ってください。

#### ② 神経障害

腓骨神経麻痺等の神経障害が現れた場合には直ちに着用を中止し、適切な処置を行ってください。

#### ③ 皮膚障害

- ・ 本品のずれ、圧迫等により、皮膚潰瘍等の皮膚障害が現れた場合には直ちに着用を中止し、適切な処置を行ってください。
- ・ ショック等、末梢循環が不安定な患者に使用した場合、着用部位に血行障害が発生し壊疽などの皮膚障害が起こる可能性があるため、着用部位の血流に注意してください。

### 2) その他の有害事象

- ・ 本品着用部位に発赤、水疱、かゆみ、発疹、かぶれ等の皮膚障害が現れた場合には直ちに着用を中止し、適切な処置を行ってください。
- ・ 本品を脱いだ後で皮膚障害が現れる場合もあるため、同様に適切な処置を行ってください。

## 【保管方法及び有効期間等】

### 1. 保管方法

高温・多湿や直射日光の当たる場所を避けて、乳幼児の手の届かない所に保管してください。

### 2. 使用期間

着用時間や着用方法による個人差がありますが、着用方法及び保守・点検に係る事項を遵守して着用した場合、10回まで洗濯し着用することができます【自己認証(当社データ)による】。

### \* 3. 有効期限

パッケージの「使用期限」に表示【自己認証(当社データ)による】。

## 【取扱い上の注意】

繊維の劣化により適正な圧迫圧が得られなくなるため、滅菌は行わないでください。

## 【保守・点検に係る事項】

### 使用者による保守点検事項

本品が汚れた際には洗濯してください。その際は以下の注意事項および点検事項に従ってください。

#### 1. 洗濯の際の注意事項

- ・ 手洗いまたは洗濯機(弱水流で洗濯ネット使用)にて、30度以下の水で中性洗剤を使用して洗濯し、陰干ししてください。
- ・ 高温水・塩素系漂白剤・消毒剤・アイロン・乾燥機の使用、またドライクリーニングは避けてください。

\*

- ・ 濃色の製品は色落ちする恐れがあるため、他の物と分けて洗濯してください。
- ・ 長時間の浸漬や濡れた状態での放置は避けてください。

#### 2. 洗濯後の点検項目

破損(伝線、ホツレ、破れ)等がないこと。

## 【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

### 製造販売業者

オオサキメディカル株式会社

お問い合わせ先 Tel 0120-15-0039